

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.182 2019年7月8日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連 第68回定例総会・第129回理事会開催

令和元年度事業計画案・収支予算案を承認

6月19日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全専各連第68回定例総会・第129回理事会が開催された。出席者は総会が136名、理事会が59名（いずれも委任状を含む）。市原康雄総務委員の司会により開会。岩本仁副会長の開式の言葉に続き、福田益和会長からあいさつを兼ねて、6月12日に開催された赤池誠章参議院議員国政報告会（会場：ハリウッド美容専門学校・東京都港区）について報告。次に来賓の赤池誠章参議院議員があいさつを述べた後、公務により退席。続いて文部科学省廣野宏正専修学校教育振興室長からあいさつを兼ねて「2019年度専修学校関係予算」「高等教育の修学支援新制度について」「留学生の在籍管理の徹底に関する新たな対応方針」等配布資料に沿って行政報告が行われた。文科省退席の後、議長団には、常任理事会の推薦候補者である重里徳太理事を議長、前鼻英蔵理事を副議長に選出。議長が会議の有効な成立を確認し、議事録署名人に江畠清彦常任理事と河原成紀常任理事を選任、提出議案の審議に入った。

【第1号議案 平成30年度事業報告（審議事項）】

事務局から会議開催状況、委員会活動等について報告。

【第2号議案 平成30年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

八文字典昭副会長・財務委員長が配布資料に基づき、収支計算書の各科目の詳細、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について説明。続いて坂本歩監事が全て適正との監査報告を行った。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【第3号議案 令和元年度事業計画案（審議事項）】

関口正雄常任理事・総務委員長が運動方針、重点目標について、事務局から会議の開催、広報活動の一層の推進等について説明。委員会活動方針に関する説明を、総務委員会（関口常任理事）、財務委員会（八文字副会長）、組織委員会（浦山哲郎理事）委員長が行った。

【第4号議案 令和元年度収支予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、各科目の詳細について説明を行った。



福田益和会長による開会挨拶



赤池誠章参議院議員による来賓挨拶

【第5号議案 令和元年度第1次補正予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、平成30年度の決算額確定を受けた、補正後の予算額について説明した。第3号議案、第4号議案、第5号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【第6号議案 会則ならびに会則施行細則の一部改正（審議事項）】

浦山理事・組織委員長が配布資料に基づき、組織委員会における審議状況を説明した後審議され、議決により会則等改正案は承認された。

【第7号議案 全専各連分野別専門部会 公益社団法人全国珠算学校連盟の退会について（理事会審議事項）】

事務局から配布資料に基づき、公益社団法人全国珠算学校連盟から提出された退会届について説明。特に異議はなく、出席理事全員これを拍手承認した。

また、報告事項として、事務局から「専門職大学制度の創設と専門学校の今後の方向性」について説明。以上により、議長が全ての議事の終了を確認し、岡本比呂志副会長が閉式の言葉を述べ、総会を終了した。

総会終了後、懇親会が開催され、盛会のうちに全日程を終了した。

令和元年度 全国専門学校協会定例総会・理事会を開催

6月20日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国専門学校協会令和元年度定例総会・理事会を開催。出席者は総会が188名、理事会が60名（いずれも委任状を含む）。重里徳太総務運営副委員長の司会により開会。清水裕副会長の開式の言葉に続き、福田益和会長があいさつを述べ、前日の全専各連総会等について報告を行った。

来賓あいさつとして、廣野宏正文部科学省専修学校教育振興室長が「2019年度専修学校関係予算」「高等教育の修学支援新制度について」「留学生の在籍管理の徹底に関する新たな対応方針」等の説明を中心に行政報告を行った後、公務の為退席。議長団には、常任理事会の推薦候補である植田威理事を議長、前鼻英蔵理事を副議長として選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に青池浩生常任理事と田中誠二常任理事を選出して議事に入った。

【第1号議案 平成30年度事業報告】

【第2号議案 平成30年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案について一括審議を行った。第1号議案については、事務局から配布資料に基づき報告を行った。第2号議案については、八文字典昭常任理事・財務委員長が平成30年度収支における各科目の内容を報告

し、続いて戸早秀暢監事が全て適正との監査報告を行った。各議案に関して出席者全員異議なくこれを拍手承認。

【第3号議案 令和元年度事業計画案】

【第4号議案 令和元年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案について一括審議を行った。第3号議案については、配布資料に基づき、関口正雄常任理事・総務運営委員長が運動方針を説明した後、事務局が会議の開催、委員会活動方針（留学生委員会については武田哲一常任理事・留学生委員長）、調査研究事業、研修事業の実施、広報活動の推進、専門学校におけるスポーツ振興について説明。続いて第4号議案については、八文字常任理事・財務委員長が予算編成方針及び各科目の内容を説明。各議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認。

【第5号議案 会則ならびに会則施行細則の一部改正】

第5号議案については、事務局から配布資料に基づき報告を行った。特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認。

続いて事務局から配布資料「専門職大学制度の創設と専門学校の今後の方向性」に基づき説明を行った。

以上により、議長が全ての議事の終了を確認し、河原成紀副会長が閉式の言葉を述べ、総会の全日程を終了した。

春の叙勲・褒章の受章者

心よりお祝い申し上げます

令和元年度春の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。
長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載
し、心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

* 旭日双光章

岡原 猛 (大阪府・堺看護専門学校理事長)

* 瑞宝双光章

秋葉 英一 (千葉県・千葉情報経理専門学校理事長・
校長、東京都・東京豊島 IT 医療福祉専門学校
理事長)

渡辺 敏彦 (新潟県・新潟ビジネス専門学校校長)

臼杵 たみ子 (香川県・穴吹医療大学学校教育部長)

* 瑞宝単光章

外池 和彦 (滋賀県・国際経営情報専門学校校長)

* 黄綬褒章

田熊 文子 (京都府・京都美容専門学校理事長)

文部科学省人事異動

文部科学省において、4 月 1 日付で以下のとおり人事異
動がありました。() 内は前任者。敬称略。

○専修学校教育振興室係員 福島 寿哉 (嘉数 松悟)

○専修学校教育振興室係員 長島 雄大 (福島 健太)

○専修学校教育振興室係員 桑代 康平 (柴田 浩希)

○専修学校教育振興室係員 羽田 奈津美 (山本 壮)

都道府県協会等の代表者交代

＜都道府県協会等代表者交代＞ 敬称略

◇公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟

古澤 幸治

◇一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会

岩永 城児

◇一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会

後藤 洋一

令和元年度 全国高等専修学校協会 定例総会・管理者研修会

6 月 13 日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場とし
て、全国高等専修学校協会令和元年度定例総会を開催。出
席者は 101 名 (委任状を含む)。清水信一会長が開会あい
さつを述べ、来賓として赤池誠章参議院議員・自民党文部
科学部会長、廣野宏正文部科学省専修学校教育振興室長が

あいさつを述べた。議長には理事会の推薦候補者である北
海道の柏尾典秀理事を選出。議長が会議の有効な成立を確
認した後、議事録署名人に千葉県の長森修三理事と東京都
の福田潤理事を選出して議事に入った。

【第 1 号議案 平成 30 年度事業報告】

【第 2 号議案 平成 30 年度決算報告ならびに監査報告】

第 1 号議案、第 2 号議案について一括審議を行った。第
1 号議案では、配布資料に基づき、事務局が会議・研修会
の開催、委員会活動、体育大会、広報活動等について説明。
第 2 号議案では、配布資料に基づき、事務局が各科目の内
容を説明し、畑修監事が全て適正であると監査報告を行っ
た。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議
なくこれを拍手承認した。

【第 3 号議案 令和元年度事業計画案】

【第 4 号議案 令和元年度収支予算案】

第 3 号議案、第 4 号議案については一括審議を行った。
第 3 号議案については、配布資料に基づき清水会長が運動
方針について説明。本年度は、高等専修学校の社会的認知
度を高めるため、協会として文部科学省が昨年度刊行した
「未来をひらく高等専修学校」パンフレットを増刷して会
員校に配布し、全国の中学校等への普及啓発活動を行って
いる。また体育大会の参加には、独立行政法人日本スポー
ツ振興センターの災害共済給付制度の加入を義務化し、更
なる加入促進を図っている。文部科学省の「高等専修学校
の機能高度化に関する調査研究」事業により、各学校の学

びのセーフティネット機能強化を図り「チーム高等専修学校」を構築して、各都道府県の助成金の確保・充実につなげることが最重要課題である。続いて、関谷豊副会長・高等専修学校総務委員長が協会運営、大岡豊副会長・制度改善研究委員長が調査研究活動、岡部隆男副会長・研修委員長が研修会の開催、谷誠副会長・体育振興委員長が体育大会の開催など各委員会活動方針を説明。第4号議案については、配布資料に基づき事務局が各科目の内容を説明した。両議案に関しては、特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。以上により、議長が全議案を原案どおり承認されたことを確認し、全日程を終了した。

【管理者研修会】

定例総会終了後、引き続き管理者研修会が開催された。岡部隆男研修委員長が開会あいさつを述べ、「各都県における高等専修学校の振興施策の推進」事例発表として、「東京都における取り組み」を武蔵野東高等専修学校の清水信一先生、「福島県における取り組み」を磐城学芸専門学校の畑修先生、「兵庫県における取り組み」を大岡学園高等専修学校の折戸宏次先生、「山口県における取り組み」を立修館高等専修学校の関谷豊先生が事例発表。続いて「高大接続改革について」をテーマとして文部科学省高等教育局の加藤善一高大接続改革 PT 専門官と廣野宏正専修学校教育振興室長が講演、出席者との質疑応答も行なって終了した。



TCE 財団だより

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://jken.sgec.or.jp/>

B 検 <http://bken.sgec.or.jp/>

情報検定 J 検 出願状況

2019 年前期情報検定（J 検）情報活用試験のペーパー方式（令和元年6月16日実施）、ならびに C B T 方式（平成31年4月1日～令和元年6月11日受付）の出願者数が次のとおりまとまった。

[ペーパー方式] 出願団体数 26 団体

1 級	671 名
2 級	758 名
3 級	955 名

[C B T 方式] 出願団体数 37 団体

1 級	124 名
2 級	525 名
3 級	962 名

合 計 3,995 名

ビジネス能力検定ジョブパス 出願状況

2019 年7月7日（日）文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス前期試験の出願状況は次のとおり。

出願総数 11,005 名

3 級 出願者数 9,162 名

2 級 出願者数 1,843 名

（通年実施の CBT 方式は含みません）

TCE 財団

第132回理事会・第89回評議員会を開催

東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、TCE 財団第132回理事会を6月12日に、第89回評議員会を6月27日に開催した。

理事会は出席者14名、評議員会は出席者10名を得て開会。福田益和理事長が開会あいさつを述べ、理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では清水裕評議員が議長、議事録署名人は堀口一秀評議員を選出し審議に入った。

【第1号議案 平成30年度事業報告】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第2号議案 平成30年度決算報告ならびに監査報告】

配布資料に基づき、岡部隆男財務担当常務理事が概要を

説明した後、事務局が詳細を説明。理事会は戸早秀暢監事が、評議員会は荒川栄一監事が監査報告を行い、異議なく原案どおり拍手承認。

【第 3 号議案 令和元年度第 1 次補正予算】

配布資料に基づき、理事会は岡部財務担当常務理事が、評議員会は事務局が説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 4 号議案 評議員会の招集について(理事会のみの審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が第 89 回評議員会の招集について説明。異議なく原案どおり拍手承認。

【第 4 号議案 理事の選任について(評議員会のみの審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が理事の選任について説明。異議なく原案どおり拍手承認。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

第 131 回理事会・第 88 回評議員会

3 月 25 日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として TCE 財団第 131 回理事会、第 88 回評議員会を開催した。

理事会は出席者 13 名、評議員会は出席者 11 名。福田益和理事長が開会あいさつを述べた後、理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では多忠貴評議員を議長に、清水裕評議員を議事録署名人に選出し審議に入った。

【第 1 号議案 平成 30 年度第 2 次補正予算】(評議員会のみの議案)

配布資料に基づき、岡部隆男財務担当常務理事が概要を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 2 号議案 令和元年度事業計画】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定、表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報についての各事業計画を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 3 号議案 令和元年度予算】

配布資料に基づき、岡部財務担当常務理事が概要を説明、事務局が詳細を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 4 号議案 貸倒処理について】(理事会のみの議案)

配布資料に基づき、事務局が経緯や貸倒処理の詳細を説明。異議なく原案どおり承認。

【第 5 号議案 会計処理に関する規程の改正】(理事会のみの議案)

配布資料に基づき、事務局が会計処理に関する規程の改正の経緯と内容の詳細を説明。異議なく原案どおり承認。

【その他報告事項】

配布資料に基づき、事務局が平成 30 年度事業中間報告(研修・研究事業、認定表彰事業、出版・広報事業、保険事業)、令和元年度の会議スケジュールについて説明した。

以上により、全ての議案の審議、承認を確認し議事終了。

令和元年度 予定日程

<役員会・総会等>

●都道府県協会等代表者会議

令和元年 11/22 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<令和元年度ブロック会議>

●中国ブロック会議

令和元年 7/4 (木)

鳥取県・ANA クラウンプラザホテル米子

●近畿ブロック会議

令和元年 7/5 (金)

京都府・ホテルグランヴィア京都

●九州ブロック会議

令和元年 7/25 (木)・26 (金)

佐賀県・ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア

●四国ブロック会議

令和元年 8/6 (火)

徳島県・徳島グランヴィリオホテル

●中部ブロック会議

令和元年 8/22 (木)・23 (金)

愛知県・ホテル名古屋ガーデンパレス

●北関東信越ブロック会議

令和元年 8/27 (火)

長野県・ホテルメトロポリタン長野

●北海道ブロック会議

令和元年9/12(木)・13(金)

函館市・函館国際ホテル

●東北ブロック会議

令和元年10/4(金)

山形県・ホテルメトロポリタン山形

●南関東ブロック会議

令和元年10/30(水)

東京都・京王プラザホテル

<研修会>

●キャリア・サポーター養成講座

令和元年7/31(水)～8/2(金)

東京都・日本電子専門学校

●中堅教員研修会

◇令和元年8/1(木)・2(金)「学校の経営」

◇令和元年8/8(木)・9(金)「教育・指導力向上」

◇令和元年8/22(木)・23(金)「新任指導力」

◇令和元年8/28(水)～30(金)「教員のキャリアデザ
インワークショップ」

東京都・主婦会館プラザエフ(※全日程共通)

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和元年度前期試験

【情報システム】令和元年9/8(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】令和元年12/15(日)

【情報システム】令和2年2/9(日)

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇令和元年度後期試験

【2級・3級】令和元年12/1(日)

◇C B T 試験

【1級】令和元年9/7(土)～15(日)

令和2年2/1(土)～9(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第74回全国私立学校審議会連合会総会

令和元年10/24(木)・25(金)

佐賀県・ホテルニューオータニ佐賀

広報全専各連
プラスWEB掲載記事

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】→プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/index.html>

◆平成31年度事務担当学会議

◆全専各連常任理事会

◆課程別設置者別部会総会等

○全国専修学校一般課程各種学校協会定例総会・研修会

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

平成30年北海道胆振東部地震、豪雨及び暴風雨による災害等、大阪府北部を震源とする地震、平成28年熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)では、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656(又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<http://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2019年度後期

試験日 2019年12月15日(日)

出願期間 手書願書—9月1日～11月5日(願書必着日)

電子願書—9月1日～11月13日(〃)

実施級/受験料 1級—4,500円

2級—4,000円

3級—3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級—4,000円

上級—4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2019年度後期

システムエンジニア認定

プログラマー認定

試験日 2020年2月9日(日)

出願期間 手書願書—11月1日～12月16日(願書必着日)

電子願書—11月1日～1月7日(〃)

実施級/受験料 基本スキル—3,500円

システムデザインスキル—3,000円

プログラミングスキル—3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

* パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

* 個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、可否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<http://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加えて新たに2級、3級にも

CBT方式を導入しています。(1級はCBT方式のみ)

(検定試験の最新情報は、B検ホームページにてご確認ください)

1級(2019年度前期)

■前期試験/2019年9月7日(土)～

9月15日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験: 7月8日(月)～

試験日の2週間前まで

/個人受験: 7月8日(月)～

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2級・3級(2019年度後期)〔ペーパー方式〕

■後期試験/2019年12月1日(日)

■出願期間/9月1日(日)～10月18日(金)

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 受文科総第1713号
共済認可番号：27 受文科総第1714号
共済認可番号：28 受文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛け金で手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円（100～499名）
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能
2017年度 剰余金割戻率：8.0%

右記の基本プランの他、医療福祉分野プラン
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に
罹災したことによる治療費、検査/予防費を
補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先
フリーダイヤル 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 (全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内)
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者さま

学生・生徒・学校のリスクをカバーします!!

こんな事で
お悩みではありませんか？



- ☑ 学校で生徒が事故にあったら大変..
- ☑ 学生がインターンシップ先でトラブルを起こしたら.....
- ☑ 自転車通学中の事故が多いと聞くけど..

もしものときに手厚く補償。
安価な保険料で、安心の学校生活・学校運営を!

Point
1

「専修学校・各種学校の実情を熟知した財団が監修」
安い保険料で、広く大勢の学生のリスクをカバーしています。

Point
2

「学生・生徒のために」
企業での就業体験としてのインターンシップが増え、それに伴い機械の誤作動によるケガや、機材の破損などに対する賠償責任事例も増加しています。本保険はインターンシップ中のトラブルにも対応しています。また、医療現場でのケガやトラブルにも対応しています。

Point
3

「学校のために」
学校教育活動全般を補償するのはもちろん、個人情報への流出など、社会的な打撃が大きい情報リスクにも対応しています。(マイナンバー対応可)

NEW!

2019年度より臨床実習を実施する医療関連学科の学生・生徒を対象とする「感染予防費用補償特約」が追加となりました!

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった。専修学校・各種学校のための保険です。そのため、キメの細かさにも自信があります。

加入校は約 **1,680** 校

加入者は約 **21** 万人 (2018年度)

さらに
学校単位の加入で、
申し込みも簡単!

無希望の多い保険の組合せ例

学生・生徒
災害傷害保険 + インターンシップ
活動賠償責任保険

<取扱代理店> 株式会社 第一成和事務所

東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋TSビル8階

引受保険会社(特選)



東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 公務第2部文教公務課 東京都千代田区二番町6-4 電話 03-3615-4133

インターンシップ活動賠償責任保険、個人情報漏えい保険、サイバーリスク保険につきましては、東京海上日動火災保険(株)の単独引受となります。

学生・生徒災害傷害保険、留学生補償保険(総合生活保険(こども総合補償))、医療分野学生生徒賠償責任保険、学校賠償責任保険につきましては、上記保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険(株)が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては団体窓口にご確認ください。このご案内は、各保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず各保険のパンフレットや重要事項説明書をよくお読みください。ご不明な点がある場合は代理店までお問い合わせください。